



機辺行久《WORK62-46》1962(昭和37)年

テクノロジーやマス・メディアが融合する都市を舞台に、抽象美術の産物として現れたポップ・アート。1950年代にイギリスで芽生え、1960年代のアメリカで爆発的な展開をみせた後、ヨーロッパ、日本などで特異に花開きました。

映画や広告、SF小説やポピュラー音楽、漫画などのサブ・カルチャーを熱狂的に支持し、大衆文化に肯定的な態度で接点を求めようとした1960年代のポップ・アートにみられる消費

者志向のイメージは、インターネットや携帯電話が普及する高度情報化社会の現代においても制作者と鑑賞者とのコミュニケーションの手段として関係の多様化、複雑化を見せながら、いっそう有効であり続けています。

この展覧会では、1960年代以降、現代までのポップ的指向を持つ作品をピックアップし、その系譜を辿りながら、現代におけるポップについて考察します。

### フロアレクチャーのご案内

当館学芸員が展示室で作品について解説します。

8月18日(日) 11:00~  
8月31日(土) 14:00~

### ギャラリーツアーのご案内

当館ボランティアが対話形式で展示室の作品をご案内します(各回30分程度)。

8月3日(土)、17日(土) 13:30~(R)、14:30~(R)

9月7日(土) 13:30~(収)、14:30~(収)

9月21日(土) 13:30~(R)、14:30~(収)

10月5日(土) 13:30~(R)、14:30~(収)

\* (R)はロタン館について、(収)は第7室収蔵品展についてのツアーです。

それぞれの会場入口にお集まりください。(申込不要)

主な出品作家  
ジェームズ・ローゼンクイスト  
草間彌生、篠原有司男  
ジュリアン・オビー  
村上隆、名和晃平  
大庭大介 ほか

# ポップの系譜



ジュリアン・オビー《Tartan skirt swing left》2007年



大庭大介《RING》2016(平成28)年

同時開催  
企画展

熊谷守一 いのちを見つめて 8月2日(金)~9月23日(月・祝)

古代への情熱—18世紀イタリア・考古学と芸術の出会い 10月2日(水)~11月17日(日)

■開館時間/10:00~17:30

※7月6日・7日(土・日)、13日・14日(土・日)は19時まで夜間開館(展示室への入室は閉館30分前まで)

■休館日/毎週月曜日

※月曜が祝日または振替休日の場合は開館、翌火曜休館(ただし、8月13日(火)は開館)

■観覧料/一般300円(団体200円)、70歳以上および大学生以下無料

※企画展観覧券で、収蔵品展・ロタン館もあわせてご覧いただけます。

※身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている方と付添者1名は無料。

●車椅子・ベビーカーを無料で貸出しております。

●託児サービス(無料)は日曜・祝日にご利用いただけます。時間:10時~15時30分 対象:6か月~小学校就学前

※お預りできる時間は2時間以内です。ご利用が集中した場合はお受けできない場合があります。

●20名以上の団体のお申込みは美術館総務課へお問合せください。

学生の団体を引率の場合、引率の先生は観覧料が無料になる場合があります。

お役立ち情報

美術館利用のご案内



- 交通案内
- JR「草薙駅」県大・美術館口から静鉄バス「県立美術館行き」で約6分(料金100円)
  - JR「静岡駅」南口からタクシーで約20分、または北口から静鉄バスで約30分
  - JR「東静岡駅」南口からタクシーで約15分、または静鉄バスで約20分
  - 静岡鉄道「県立美術館前駅」から徒歩約15分、または静鉄バスで約3分
  - 東名高速道路・静岡IC、清水IC、新東名高速道路・新静岡ICから車で約25分